



地域国際化協会連絡協議会会長
(公財)山口県国際交流協会理事長
二井 関成

地域の国際化の推進に向けて

この6月の地域国際化協会連絡協議会総会におきまして、会長に就任いたしました。高田前会長同様、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、私は、昨年の8月まで、4期16年山口県知事を務めておりましたが、その間、国際交流に関しては、「やまぐち国際化推進ビジョン」の下に、県民が主体となる多彩な交流活動や地域に根ざした国際協力活動を積極的に推進してまいりました。

特に、友好協定を締結したお隣の中国山東省、韓国の慶尚南道、そしてスペインのナバラ州とは幅広い分野において交流を進め、こうした取り組みを契機に、市町や大学、高校、民間団体にも交流が広がりました。また、在外山口県人の子弟を留学生や技術研修員として受け入れる事業などを通じて、各国の将来を担う人材の育成や「山口県人ネットワーク」の構築を進めてきました。

現在は、山口県国際交流協会の理事長として、県の国際化推進の一翼を担い、中核的民間国際交流組織としての役割を果たすべく、国際化推進のための環境づくりや多文化が共生できる地域づくりなどの事業を実施し、県民の主体的な国際活動を支援しています。

さて、当協会では、毎年子供たちを中国山東省に派遣し、また、山東省からも子供たちを受け入れてホームステイをしてもらい、お互いの国の文化や習慣などを学ぶ青少年交流事業を実施し、相互理解と友好親善に努めています。小さい時からの交流は視野を拡げ、豊かな人間性を育むことができるからです。

残念ながら、昨今の東アジア情勢により今は交流がストップしていますが、このような時だからこそ、お互いに知恵を出し合い、いわゆる草の根交流を続けることが求められています。

また、東日本大震災からすでに2年半以上経過しましたが、被災地の復興はいまだ進んでおらず、関係機関等による早急な対応が望まれます。このような大規模災害が発生した場合、地域に暮らす外国人住民をいかに支援するか、といった課題が改めて浮き彫りとなってきました。地域国際化協会連絡協議会では、大規模災害時の外国人住民の支援のため、地域ブロック内で協定を結ぶとともに、地域ブロック相互間の広域支援体制を構築いたしました。このような取り組みにより、各地域の自治体やNPOなどと連携して災害への対応ができると確信しています。

今後、災害時などの広域支援が円滑に進むよう連携の強化を図り、地域レベルの国際化の推進に寄与していきたいと考えておりますので、皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。